

2023(R5)シカ年度 知床半島エゾシカ捕獲事業計画

捕獲取組一覧

事業 主体	地 区 [事業No.]	実施時期	捕獲手法	実施場所	実施回数 わな基数	捕獲目標 頭数
【遺産地域】						
環境省	知床岬 [特 4] (位置図 1)	2023 年 6 月 ～10 月 2024 年 4 月 ～5 月 ※1※2	待ち伏せ式狙撃、 巻き狩り猟ほか	知床岬先端部	延べ 30 日 以上 ※2	メス成獣 71 頭 ※2
	ルサ-相泊 [B 2] (位置図 2)	1 月～3 月 誘引は 12 月開始	くくりわな猟	アイドマリ川、ルサ川 流域、昆布浜周辺ほか (図中①)	10 回以上 30 基以上	16 頭
	幌別-岩尾別 [B 6] (位置図 3)	1 月～3 月	大型仕切柵による 囲いわな式捕獲	岩尾別台地上 (図中①)	3 回以上	17 頭
		1 月～3 月	待ち伏せ式狙撃、 忍び猟ほか	岩尾別川河口付近 ほか (図中②)	6 回以上	
【隣接地域】						
林野庁	春刈古丹 [C 4]	1 月上旬 ～2 月上旬 誘引は 12 月開始	くくりわな猟	春刈古丹川周辺	—	25 頭
	ウトロ～ 真鯉 [C 9]	1 月上旬 ～2 月上旬	くくりわな猟	宇登呂地区 (ウトロ東、弁財崎)	—	20 頭
				遠音別地区 (オシンコシン周辺)	—	35 頭

※1 5 月以前は 2022(R4)シカ年度事業に該当。

※2 捕獲目標頭数、実施時期並びに実施回数については、本 WG 委員の意見のほか、航空カウント調査結果等も踏まえて適宜見直し。

知床エゾシカ B 地区の対応方針

ルサ-相泊地区

- ・数値目標（エゾシカ発見密度）は達成しているが、継続的な捕獲を実施。
- ・エゾシカの出現状況、地域の産業活動、希少猛禽類への影響なども踏まえたより適切な捕獲場所、捕獲手法の検討。
- ・今後の捕獲実施に向けた地域調整（隣接地域の意見交換会などの機会も利用）。

幌別-岩尾別地区

- ・数値目標（エゾシカ発見密度）は達成しているが、継続的な捕獲を実施。
- ・エゾシカの出現状況、公園の利用状況、希少猛禽類への影響なども踏まえたより適切な捕獲場所、捕獲手法の検討。

2023(R5)シカ年度 知床半島エゾシカ捕獲事業計画（遺産地域）

1. 目的

エゾシカの個体数調整を実施することにより、知床国立公園及び知床世界自然遺産地域（以下、遺産地域という。）におけるエゾシカの過増加による生態系への深刻な悪影響の緩和を図る。

2. 実施地区及び実施期間

計画期間：令和 5（2023）年 6 月～令和 6（2024）年 5 月（※6～8 月）

実施地区ごとの期間は下表のとおり。

実施地区	実施期間
知床岬地区	令和 5 年 6 月～10 月 令和 6 年 4 月～5 月（※6～10 月）
ルサ-相泊地区（羅臼町）	令和 5 年 12 月～令和 6 年 3 月
幌別-岩尾別地区（斜里町）	令和 6 年 1 月～3 月

※6 月以降に捕獲する個体については、翌シカ年度の実施状況として整理を行う。

※シカ年度は 6 月から翌年 5 月までの期間をいう。以下、文中「年度」の表記についてはシカ年度を指す。

3. 捕獲目標及びエゾシカ生息確認状況

実施地区ごとの捕獲目標頭数は下表のとおり。

実施地区	捕獲目標頭数※1	主な捕獲手法
知床岬地区	メス成獣 71 頭以上 ※1	待ち伏せ式狙撃、巻き狩り猟 ほか
ルサ-相泊地区	16 頭以上 ※2 (内メス成獣 5 頭以上)	くくりわな
幌別-岩尾別地区	17 頭以上 ※2 (内メス成獣 6 頭以上)	大型仕切柵による囲いわな式捕獲、 待ち伏せ式狙撃 ほか

※1 知床岬地区は、直近の航空カウント調査結果における発見頭数のうち、メス成獣の半数以上を捕獲目標頭数として設定。

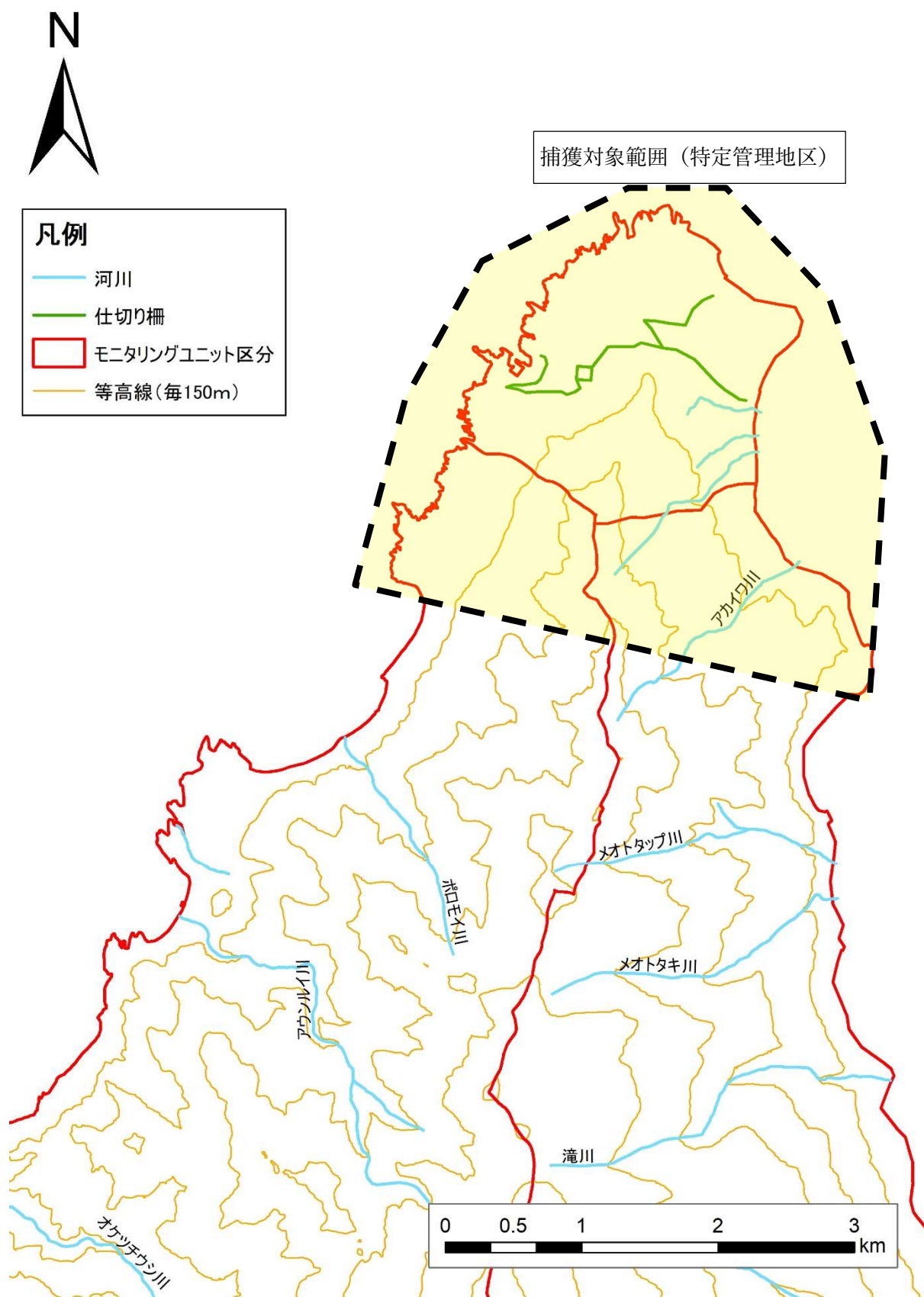
※2 知床岬地区以外の 2 地区は、直近の航空カウント調査結果における発見頭数（雌雄合計）から一般的な自然増加率（年当たり 21%）分を算出し、雌雄合計として捕獲目標頭数を設定。この内メス成獣については、過去の捕獲実績より上記目標頭数の約 3 割程度を目標頭数として設定。

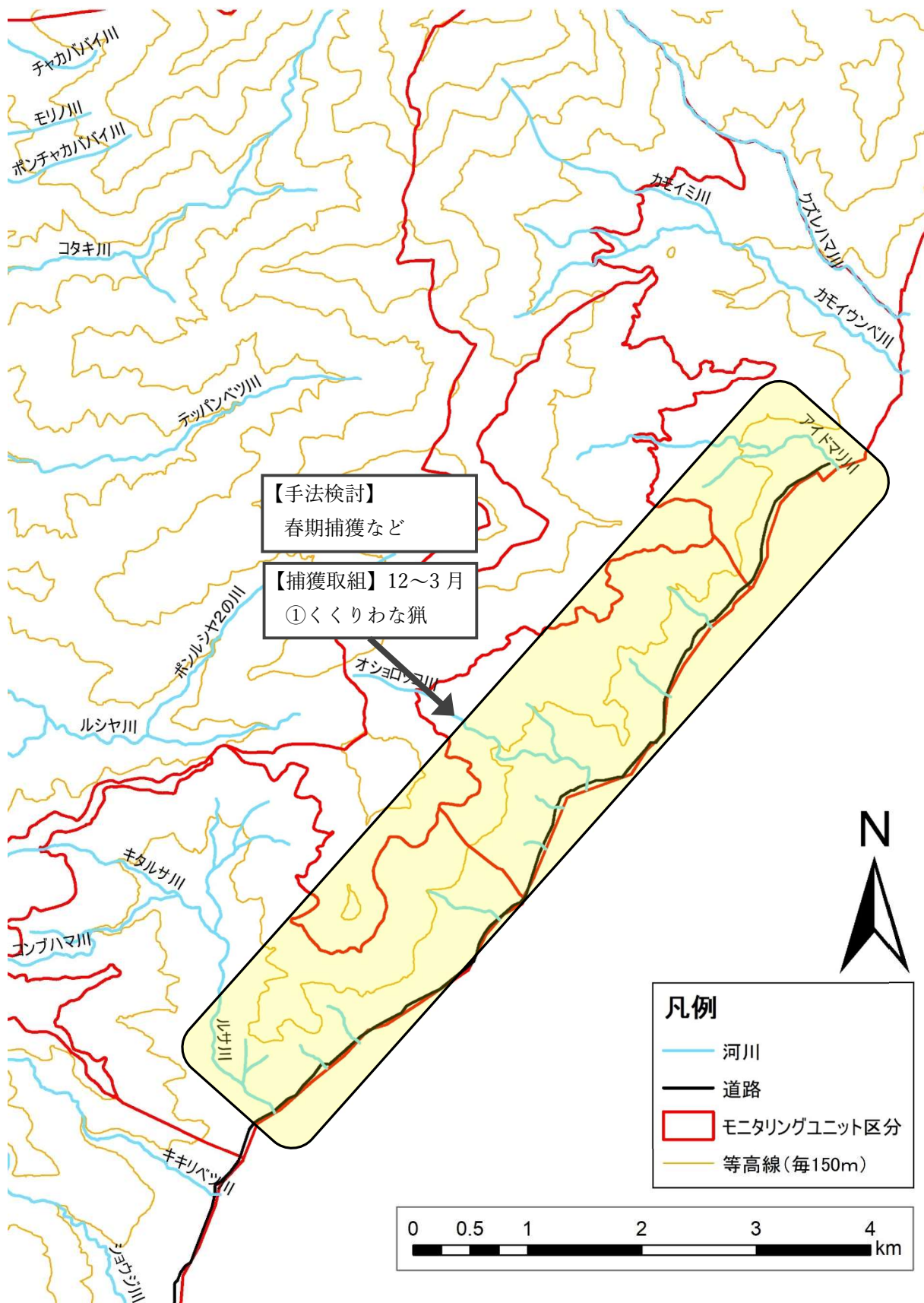
なお、実施地区ごとの目標密度等の状況は下表のとおり。

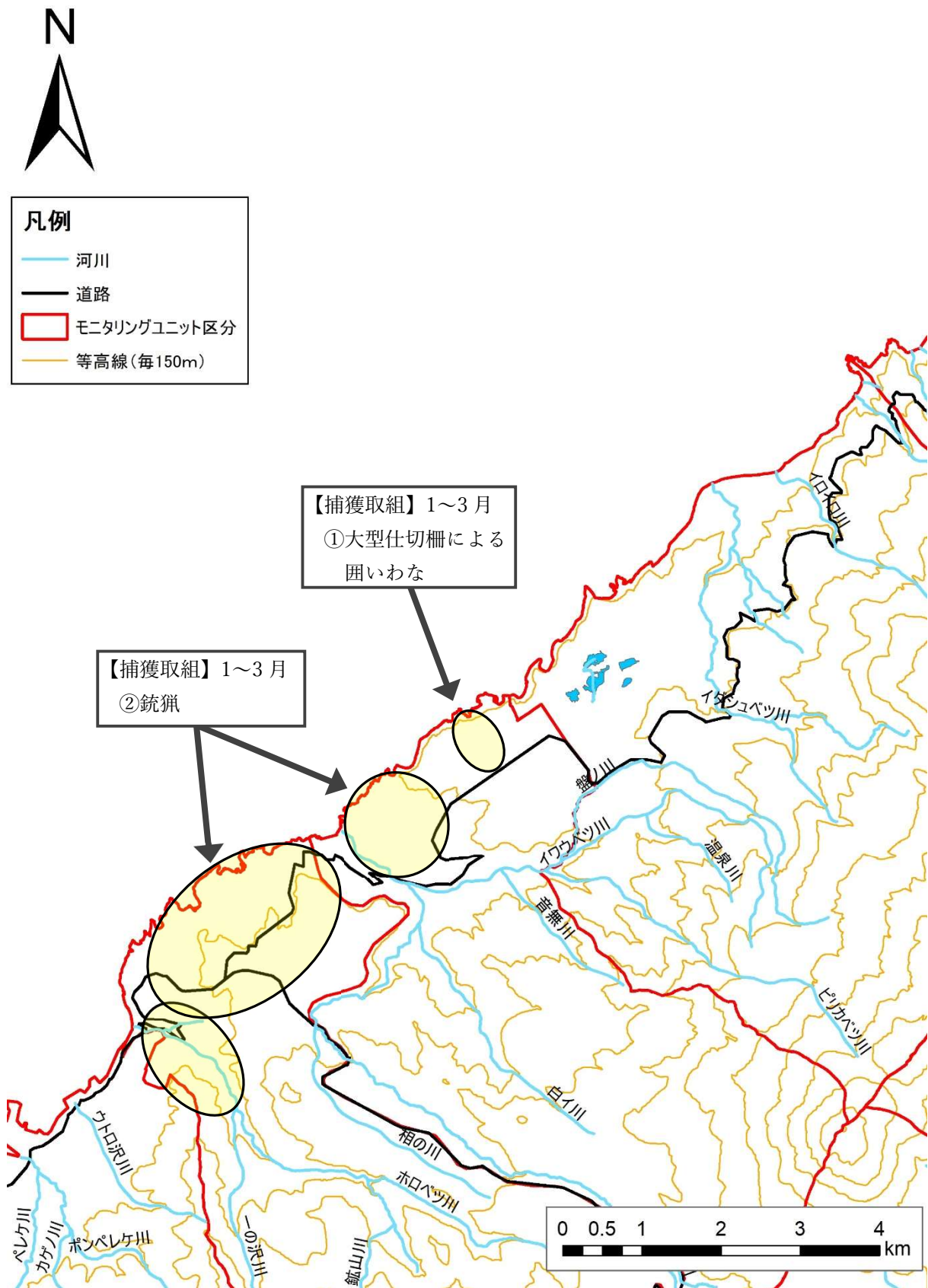
実施地区	第 4 期 目標密度	発見頭数※1	発見密度※1	
		2022 年度	2022 年度	第 3 期最終年 (2021 年度)
知床岬地区	10 頭/km ²	315 頭 内メス成獣 141 頭	63.47 頭/km ²	78.64 頭/km ²
ルサ-相泊地区	5 頭/km ²	75 頭	3.04 頭/km ²	3.97 頭/km ²
幌別-岩尾別地区	5 頭/km ²	80 頭	2.75 頭/km ²	10.28 頭/km ²

※1 発見頭数及び密度については、過年度のエゾシカ航空カウント結果を基に算出・掲載。

4. 捕獲等取組予定位置図







2023（R5）シカ年度 エゾシカ捕獲事業計画（隣接地域）

第4期知床半島エゾシカ管理計画の管理目標：エゾシカの採食圧を軽減することにより、生物多様性を保全するとともに、地域住民とエゾシカの軋轢緩和を図る。

1）経緯と方針

<経緯>

- ・北海道森林管理局では、2010（H22）年度から春苺古丹地区で捕獲事業を開始。2013（H25）年度から遺産地域に隣接する宇登呂地区での捕獲事業を開始。2014（H26）年度から遠音別地区、真鯉地区において捕獲事業を開始。
- ・わなによる捕獲は、囲いわな、箱わなに加え、2018（H30）年度からくくりわなによる捕獲を実施。
- ・囲いわなでの捕獲数が年々減少しており、理由としては警戒心の増加、局所的な生息数の減少が原因として考えられる。
- ・地形条件等により囲いわな設置が難しい箇所においては、銃を用いた捕獲をH26年度から実施。なお、捕獲可能な場所が限られることもあり、捕獲頭数は年々減少しており、R2年度以降は銃猟を休止するとともに、くくりわな主体に捕獲を実施。

<方針>

- ・事業実施にあたっては希少野生生物に配慮するため有識者より助言を受けて実施する。
- ・くくりわなにおいて安定した頭数が捕獲されていることから、捕獲方法はくくりわなによる捕獲を行う。
- ・囲いわなについては捕獲頭数が減少しているため、当面休止する。
- ・銃を用いた捕獲は捕獲頭数の減少のため、今年度も実施しない。
- ・銃猟禁止区域であるウトロ東からオシンコシンにかけて、及び春苺古丹において、くくりわなによる捕獲を行う。
- ・捕獲目標頭数は実績等を勘案して作成。

2) 捕獲事業内容案

＜全体＞目標 80 頭

- ・くくりわな（1月上旬～2月上旬に捕獲を実施）

2-1) 宇登呂地区 捕獲目標頭数：20 頭

- ・くくりわな（ウトロ東、弁財崎）

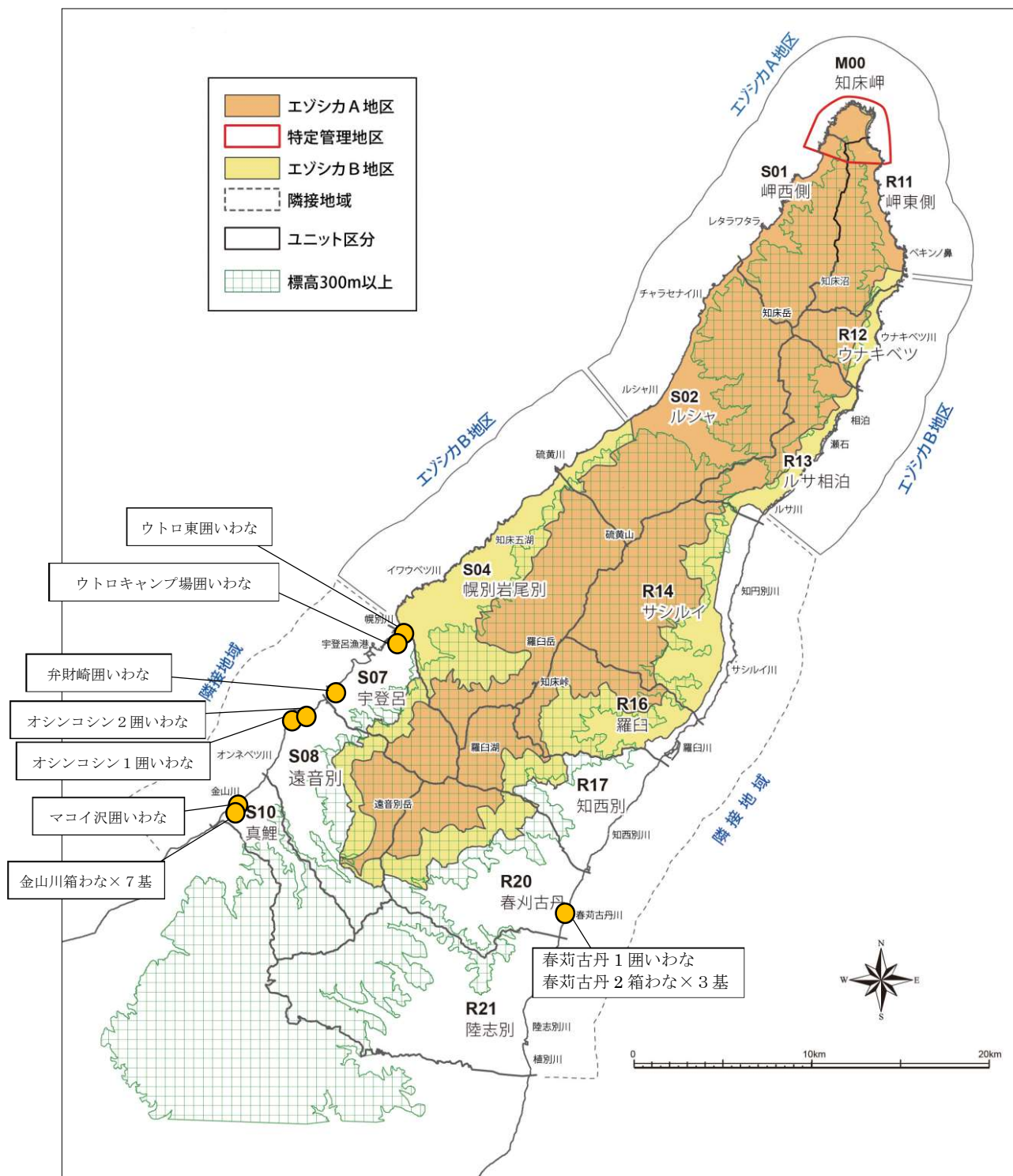
2-2) 遠音別地区 捕獲目標頭数：35 頭

- ・くくりわな（オシンコシン周辺）

2-3) 春茹古丹地区 捕獲目標頭数：25 頭

（12月給餌・誘引開始、1月上旬～2月上旬捕獲実施）

- ・くくりわな（春茹古丹川周辺）



図．既設わな位置図。R5 年度は既設わなの稼働予定無し。